

第4学年 社会科学習指導案

1 小単元名 特色ある地いきと人々の暮らし

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領第3・4学年の内容(6)のウ『県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活』を受けて学習を行う。県内には、自然環境や伝統的な文化を保護・活用している特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により、産業を発展させたりしていることなどを調べることを通して、県内の特色ある地域の様子について理解することをねらいとしている。

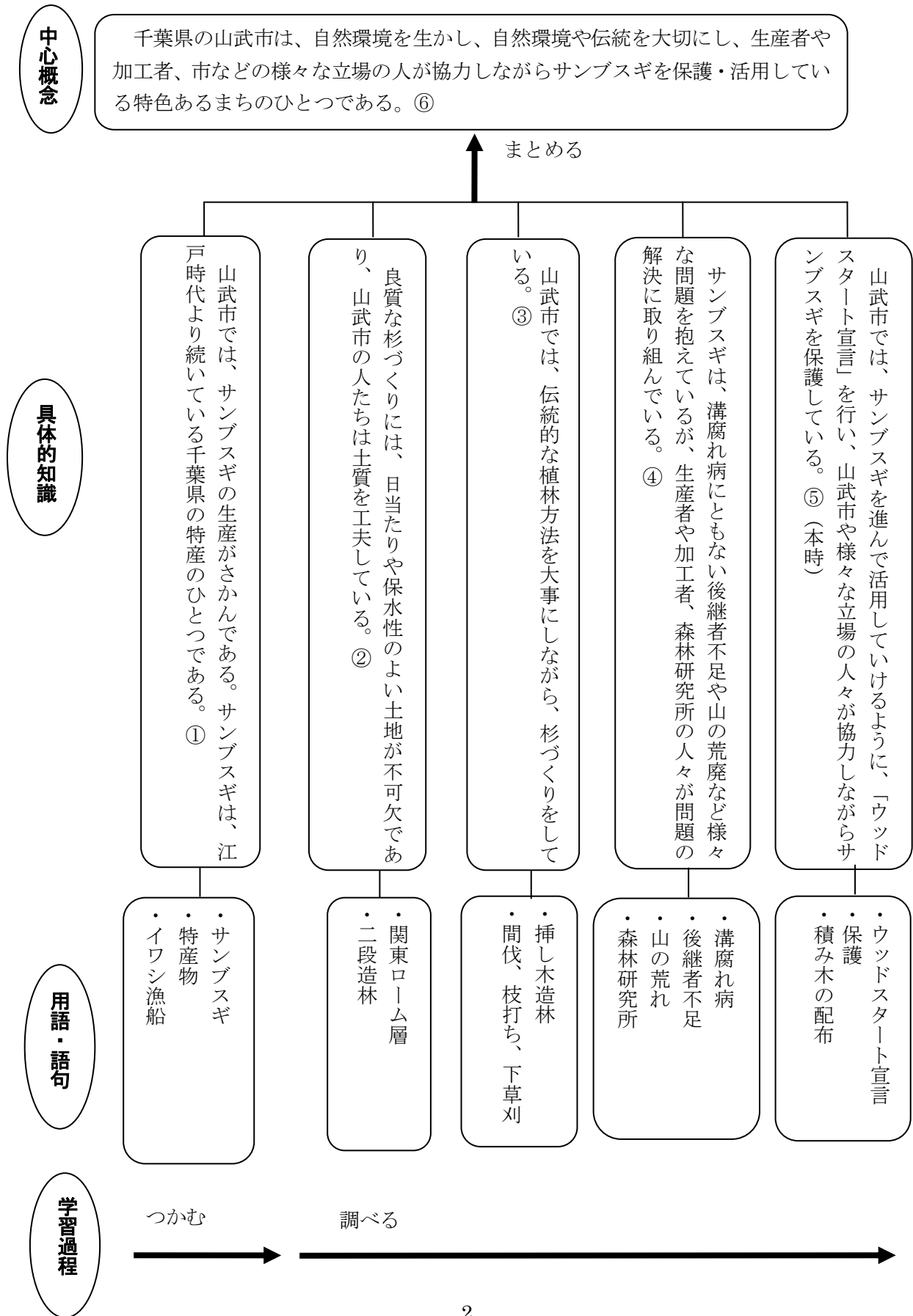
これまでに児童は、「県の広がり」の学習で、県の地形や交通網の広がりなどの情報を統合して、県の概要や産業の特色を考え、「千葉県ガイドブック」にまとめてきた。本小単元では、県内の特色ある地域の位置や自然環境、人々の協力関係に着目し、土地の特性を生かした産業のおこりや成り立ち、特色あるまちづくりの様子、そのための県や市、地域住民、産業に携わる人々など、様々な立場の人々の協力関係について調べたことを手掛かりに、県内の特色ある地域の様子を捉えることができるようにしたい。

本学級の児童は、学習問題やまとめを自分の言葉で考えたり、友達のかえに耳を傾け、友達の気付きを自分のノートに進んで追記したりするなど、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、自分たちの住んでいる千葉市以外がどのような様子なのか、千葉県ではどのような産業が盛んなのかについては関心が低い面も見られる。また、問題解決的な学習の流れに沿って学習は進められるが、問題解決の見通しを立て、必要な情報を収集したり、複数の資料を関連させたりして情報を読み取ることが課題である。

そこで本小単元では、県東北部の山武地域を中心に、県内にも多く植栽されている「サンプスギ」を素材として活用し、学習を進めていく。サンプスギは、一般の杉に比べて非常に堅く、その優れた性質から、最高木材として流通している。JR 千葉駅にあるペリエ千葉内のコンコースの内装や、千葉市内の保育園の床材などにも、サンプスギが使われている。山武市は下総台地や九十九里平野にまたがって位置している。この辺りは、年間降水量も1500ミリと少なく、杉栽培を行っている土地は、水はけの良い火山灰からなる砂質層で、決して杉の生育環境に適しているとはいえない地域である。しかし、土質や造林の手段を考案し、東京に近い地の利を生かして、江戸時代より林業が産業のひとつとなった。さらに昨年、山武市は県内初の「ウッドスタート宣言」をし、1歳6か月の幼児にサンプスギ製の積み木を配布するなどの取り組みを行っており、地域の資源を保護・活用に取り組んでいる。山武市を知らない児童も多くいるが、導入を工夫し、サンプスギに親しみをもって学習を進めることで、主体的に調べ学習に取り組むことが期待されるだろう。特色ある地域の人々がどのように産業を発展させているのか、生産者や加工者だけでなく、山武市や地域住民などの様々な立場によって、産業を発展させていることを理解させていきたい。

サンプスギは近年、溝腐れ病や後継者不足等の課題を抱えているが、その解決に向けて、「生産者」「加工者」「山武市」が連携して、産業の発展に取り組んでいる。それぞれの立場の人が、どのように協力しながらサンプスギを保護・活用しているのかを複数の資料より適切に読み取り、関連付けて結論を導いていけるように、思考ツールの一つである「コア・マトリクス」を活用する。思考ツールを活用し、社会的事象の特色や意味について多角的に考えられるようにすることで、特色ある地域の人々の暮らしへの理解を深められるようにしていきたい。

3 知識の構造図



4 小単元の目標

- 山武市の自然環境や伝統など地域の資源を保護・活用している様子や、そこに住む人々の生活の様子を理解するとともに、地域の特色の良さを考えようとするができる。
- 地図帳や写真、新聞記事やビデオレターなどから必要な情報を集め、県や市、様々な立場の人々が地域の資源を保護・活用するために、協力している様子を読み取ることができる。

5 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	○山武市の人々の生活に関心をもち、意欲的に調べている。 ○山武市の特色やよさを考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○山武市の人々の生活について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○山武市では、様々な人が協力し合ってサンプスギの保護に取り組んでいることを考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○地図帳や写真、新聞記事やビデオレターなどから必要な情報を集め、様々な人が地域の資源を保護・活用するために、協力している様子を読み取っている。
社会的事象についての 知識・理解	○山武市の人々が、自然環境や伝統など地域の資源を保護・活用している様子や、そこに住む人々の生活の様子から、千葉県の特徴を理解している。

6 小単元の指導計画（ 6時間扱い ）

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りにある自然を生かした産業について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・広い土地を使って牛を育てている。 ・木でできた棚や家がある。 ・竹でできたうちわがある。 ○サンプスギでできた積み木や箸と他の産地の杉や木でできた積み木や箸を比べて気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・とてもいいにおいがする。 ・色が違う。 ・家で使っているものに似ている。 ○どんな場所で作られたと思うか土地のつくりをもとに予想を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・山がたくさんある房総丘陵の近くで作られた。 ・下総台地の近くで作られた。 ○積み木や箸を作った石井工業株式会社の石井さんのメッセージビデオから気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・山武市など下総台地では約 250 年前からサンプスギが多く作られている。 ・杉にはいろいろな品種がある。 ・杉は家だけでなく、家具や箸などの商品もある。 ・もともと山武市は杉づくりには適していない環境であった。

		<p>○山武市の杉づくりについて気付いたことや疑問に思うことから学習問題をつくり、予想を話し合い、予想や地図をもとに学習計画を立てることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ 山武市では、なぜ杉づくりがさかんになったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・広い土地でたくさん育てている。 ・育ちやすくするために肥料を工夫したのかな。 ・誰かがサンプスギをPRしているのかな。
調 べ る	1	<p>○生産者の土屋さんの話をもとに杉づくりに適した条件について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山武市は下総台地にあり、火山灰土に覆われた関東ローム層という地形できている。 ・「マツ・スギの二段造林」の手段を使って保水性を高め生育環境を整えた。
	1	<p>○写真をもとに、サンプスギができるまでの工程を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐や枝打ちを行って手入れをしている。 ・1年間休まずに手入れをしている。 <p>○生産者の土屋さんの話をもとにサンプスギづくりや自然環境を守るための取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「挿し木造林」という伝統的な方法で作られている。 ・下草刈や枝打ちは、農家の人に手伝ってもらっている。
	1	<p>○生産者の土屋さん、加工者の石井さんの話からサンプスギの抱える問題について話し合うことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿し木造林で栽培しているので溝腐れ病になった。 ・森林の面積がだんだん減ってきて山が荒れてきた。 <p>○生産者の土屋さん、加工者の石井さんの話をもとにサンプスギを守っていくための取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健全な木を選び、山を大切に管理していく。 ・溝腐れ病の木も丸ごと使って山を育てる環境づくりをしている。 ・森林研究所がウッドチップを作っている。
	1 (本 時)	<p>○サンプスギを守っていくために、どんな活動をしているのか、資料をもとに調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山武市では「ウッドスタート宣言」をし、木の文化を守っている。 ・1歳6か月の幼児にサンプスギ製の積み木を配布している。 <p>○生産者や加工者、市がどのようにサンプスギを守っているのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場の人が協力しながらサンプスギを守っている。
ま と め る	1	<p>○山武市の杉づくりについてのまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ 山武市では、自然環境を生かして、生産者や加工者、市などが協力してサンプスギを守っているのので、杉づくりがさかんになった。</p> </div> <p>○自分たちにできそうなサンプスギを守る取り組みを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県ガイドブック」に載せて、サンプスギを知ってもらおう。 ・サンプスギを使った商品を考えよう。

7 市教研社会科研究主題解明のための方策

変貌する未来を切り開く社会科学習
～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

〈本年度主題解明のための方策〉

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり
研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

【研究内容1】「深い学び」に導く単元づくり

○社会事象を身近に感じ、意欲的な調べとなる教材の活用

本単元では、「深い学び」を実現するために、杉でできた積み木や箸と親しむ時間を導入で設ける。サンプスギや秋田杉、屋久杉など産地の違う杉を比較することで、香りや色など素材のもつ良さに触れることができるだろう。さらに、サンプスギが昔から九十九里浜のイワシ漁船に使われていたこと、近年では、JR 千葉駅内のコンコースや千葉市内の保育園にサンプスギが使われていることを紹介することで、「千葉県も林業が有名なのかな」「どんな杉なのかもっと調べてみたい」という内発的な学習意欲や問いなどが生まれ、学習の方向を導くことができるであろう。サンプスギが時間の経過とともにどのように受け継がれてきたのか、山武市の人々がどのように協力してきたのか、その土地の特性や歴史的背景などの見えない部分にも着目していくことで、問題解決の糸口としていきたい。

○ビデオレターの活用

「生産者」や「加工者」、「市」などの山武市の人々が協力しながら、自然環境を保護・活用していることについて理解するためには、山武市の林業に携わっている方との対話が重要である。サンプスギの生産や販売に携わっている方とビデオレターを通して対話することで、林業に携わっている方のそれぞれの立場での取組やサンプスギを保護していきたいという思いを強く感じられるのではないかと考える。さらに、直接の声を聞くことで産業の歴史的背景や、時間の経過とともに受け継がれてきた、そこにある人々の思いの理解へとつながるであろう。目には見えない山武市の人たちの思いを、ビデオレターを通して知ること、社会事象に見られる課題を把握し、解決に向けて社会的な見方・考え方ははたらかせることにつながるであろう。その際、映像だけでは伝わりにくい部分については、映像に字幕を入れたり、紙の資料を提示したりするなどして、ビデオの内容をしっかりとおさえられるようにしたい。

【研究内容2】社会的な見方・考え方ははたらかせる学習過程の工夫

○協力関係に気付くためのコア・マトリクス活用

本時では、思考ツールの一つであるコア・マトリクスを活用する。コア・マトリクスは、複数の情報や考えを関連付けて統合し、結論を導くことができる思考ツールの一つである。言葉だけでは協力関係がはっきりしないことも考えられる。それぞれの立場の人がどの立場の人と、どのように協力しているのかが捉えられるように、図の中に矢印を用いたり、吹き出しを書き込むなどしたりする。断片的であった情報が一つに可視化されることによって、協力関係がはっきり見えるようにしていきたい。「生産者や加工者のサンプスギを守る取り組み」「市のサンプスギ活用の取り組み」など調べてわかった事実を分類しながら整理することで社会事象を多面的・多角的にとらえることができる。あらかじめ個人で考えたことを、友達との対話を通じて新たな考えに気付いたり自分の考えをより妥当なものにしたりすることで「わかった・できた」という手応えにつながり、「深い学び」の実現につながると考える。

8 本時の指導

(1) 本時の目標

○山武市では、様々な人が協力し合ってサンプスギの保護に取り組んでいることを考え、適切に表現している。【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開 (5/6)

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
3	1 学習計画を振り返り、学習問題を立てる。	○学習計画表を確認できるように、掲示しておく。	・学習計画
	山武市では、それぞれの立場の人がどのようにすぎを守っているのだろうか。		
5	2 サンプスギを守るそれぞれの立場の取り組みについて確認する。 ○生産者 ・山を後世まで残していけるように、健全な木を選び丁寧に管理し大きく育てていく。 ○加工者 ・木をたくさん作ってもらえる環境を整えていけるように、病気の木も丸ごと使いきれないようにしている。 ○その他 ・農家の人が下草刈をしている。 ・森林研究所がウッドチップを作っている。	○それぞれの立場でどのように守っているのかに気付けるようにコア・マトリクスに書き込んでいく。 ○どのような目的で活動を行っているのかを考えられるように、理由や根拠も伝えられるように助言する。	・既習の掲示物 ・拡大したコア・マトリクス用紙
5	3 山武市はどのように杉を保護しているのか予想し、話し合う。 ・木をPRするために、おまつりを行っている。 ・サンプスギの知名度を上げるために商品を販売している。	○銚子市の取り組みを参考に、理由づけて考えるようにする。	・既習の掲示物
7	4 山武市の取り組みを資料より調べる。 ・ウッドスタート宣言をして木の文化を伝えようとしている。 ・1歳6か月健診でサンプスギの積み木をプレゼントしている。	○山武市が木の文化を伝えたり、暮らしの中に木のおもちゃを取り入れたりしていることが調べられるように「ウッドスタート宣言」の資料を用意する。 ○山武市がどのように守っているのかに気付けるようにコア・マトリクスに書き込んでいく。	・ウッドスタート宣言のチラシ

20	<p>5 生産者や加工者、市がどのように協力してサンプスギを守っているのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と農家の人は下草刈で協力している。 ・山武市のウッドスタート宣言があるから生産者は木をたくさん植えているんだね。 	<p>○それぞれの立場の人がどのように協力しているのか、相互関係が捉えられるようにコア・マトリクスに矢印や吹き出しを使ってもよいことを伝える。</p>	
5	<p>6 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>○コア・マトリクスを使ってそれぞれの立場の取り組みを関連付けてまとめを書けるようにする。</p> <p>○まとめが書けない児童には、黒板にあるキーワードをどう結び付けたらよいのか一緒に考えるようにする。</p> <p>◆山武市では、様々な人が協力し合っ てサンプスギの保護・活用に取り組 んでいることを考え、適切に表現し ている。【思考・判断・表現】</p>	
<p>山武市では、生産者や加工者、市や県の人々が協力しながらサンプスギを守っている。</p>			

《本時の資料》

○コア・マトリクス

